

|     |   |      |     |     |            |
|-----|---|------|-----|-----|------------|
| 校 種 | 中 | 学校番号 | 1 1 | 学校名 | 宇都宮市立横川中学校 |
|-----|---|------|-----|-----|------------|

## 令和7年度 学校経営計画

### 1 教育目標

#### (1) 基本目標

「豊かな心をもち 未来を切り拓く力を身に付けた生徒の育成」  
～社会で『自立と貢献』ができる人づくりを目指して～

#### (2) 具体目標（目指す生徒像）

- ①豊かな心をもち 思いやりのある生徒（徳）      ②主体的に考え 粘り強く学ぶ生徒（知）
- ③気力にあふれ たくましい生徒（体）              ④精神的に自立し 他と協働できる生徒（社会性）

### 2 学校経営の理念

- ・「知・徳・体」の育成をバランスよく進めることにより、豊かな心を基盤にしなが、確かな学力や自ら学び考え行動する力、健康な心身などの「生きる力」を育成する。併せて、今後ますます必要とされる社会性の育成についても推進する。
- ・正しい生徒理解や明確な方針に基づいた教育活動を展開することにより、人間尊重の精神を基盤として、生徒の多様な資質や個性を伸ばし、自他を尊重し健全な社会生活を営むことのできる人間の育成を図る。
- ・教職員としての使命を自覚し、自ら研鑽に努め、業務の適正化を図りながら協働した教育実践をしていくことで、保護者や地域との連携を深め、一層信頼される学校づくりを推進する。

### 3 学校経営の方針（「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」を受けて）

〔横川地域学校園教育ビジョン〕

『豊かな心の育成を目指す 横川地域学校園の小中一貫教育』

～自分・人・地域を大切にし、主体的に行動できる子どもの育成を目指して～

#### (1) 「確かな学力」と「社会性」の育成を目指す学業指導の推進

#### (2) 豊かな人間性、主体的に生きる力を育む教育の推進

#### (3) 認め、褒めて伸ばす指導による自己肯定感・自己有用感を高める教育の推進

#### (4) 言語環境の整備と人権尊重の教育の推進

#### (5) 特別な配慮を要する生徒のための指導・支援体制の整備及び個に応じた指導・支援の推進

#### (6) 専門性や指導力の向上を目指し、相互に学び合い、業務の効率化を図りながら、教育課題に協働して取り組む教職員集団の構築

#### (7) 小学校、家庭、地域との連携による信頼される学校づくり

#### (8) 生徒と向き合う時間等の確保に向け、ICT 機器の活用や業務の精選、改善等、全教職員による当事者意識をもった働き方改革の推進

### 4 教育課程編成の方針

次の5つの視点を踏まえ、地域とともにある学校づくりを推進するための教育課程を編成する。

- (1) 「社会に開かれた教育課程」の理念を踏まえ、教科・領域の横断的な関係を意識したカリキュラム・マネジメントの充実
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けた地域の教育資源の活用や連携
- (3) 地域学校園内の小学校との連携・協力による、小中一貫教育の一層の充実
- (4) 保護者や地域住民等への積極的な情報発信及び家庭や地域との連携・協働の推進
- (5) 行事や業務に係る内容の見直しと精選・教職員の意識を高めた働き方改革の推進

### 5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

#### (1) 学校運営

○生徒一人一人のよさを認め、「褒めて伸ばす」指導の充実

・働き方改革に向けた教職員の意識改革と具体的な方策の検討・実施による効果の検証

## (2) 学習指導

「分かる授業」の展開及び家庭学習の確立による基礎・基本の定着と「主体的・対話的で深い学びの実現」による思考力、判断力、表現力、学びに向かう力の育成

## (3) 児童生徒指導

○「心のたくましさ」を育てる積極的な生徒指導

○児童生徒の健全育成を目指して - いじめゼロ・あいさつ・時間・言葉づかい - (共通スローガン)  
～「挑戦する」「我慢する」「あきらめない」「自信を持つ」生徒を育てるための指導の充実～

○自立に向け、学習や係活動、学校行事等に自分ごととして主体的に関わろうとする生徒の育成

## (4) 健康(体力・保健・食育・安全)(元気アップ教育に係る取組を含む)

自他の命を大切にし、安全・健康・体力の向上に取り組む生徒の育成

# 6 学習指導、児童生徒指導、健康(体力・保健・食育・安全)に関する取組 ※ 様式2～4参照

## 7 特色ある学校づくり等に関する取組

### (1) 育てたい資質・能力

【自立に向けて】確かな学力、進んで学ぶ意欲、自分の考えをもち表現する力、主体的に行動する力  
粘り強く取り組める気力、基本的生活習慣、心身の健康・安全

【貢献に向けて】思いやりの心、自他を大切に協調する態度、地域に貢献する意欲と態度

### (2) 具体的取組(提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇)

#### ① 学習指導の充実

◇思考力、判断力、表現力を伸ばす言語活動の充実と対話的な学びを図るための授業改善

・「デジタルの力でリアルな学びを支える」ためのICT機器を効果的に取り入れた授業づくり

◇家庭学習の定着・充実(自主学習ノートの活用など)

#### ② 生徒が主体的に活動し、自己肯定感や自己有用感を感じられる学校行事や地域でのボランティア活動の充実

#### ③ 清潔で潤いのある学習環境の整備

・清掃の徹底、校内緑化

・不具合箇所の早期発見、早期対応に向けた安全点検の徹底

#### ④ 教職員の資質向上のための校内研修の充実

・共通研究テーマに基づく全教員による授業公開と授業研究会の実施

・特別支援教育等に関する研修会の実施

#### ⑤ 体力・気力と心を育てる部活動の充実

・宇都宮市のガイドライン、「子どもたちのための部活動」に則った適正な部活動の運営

・部活動の地域展開に向けた、関係団体、PTAとの連携

## 8 本市の重点施策・事業との関連

### (1) 地域とともにある学校づくり(「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む)

#### ① 基本的考え方

○保護者や地域住民に、生徒や教職員の活気ある姿や教育活動を積極的に公開し、学校教育への理解を深めていただく機会を充実させる。

○学校、保護者および地域住民が一体となって「地域の学校」づくりを推進する。

#### ② 主な取組

・PTA総会や学級懇談の実施、オープンスクールの設定による開かれた学校づくり

・PTAや同窓会との連携・協働(体育祭、文化祭等の学校行事、交通指導、表彰)

・学校HPやメール配信を活用した、各種たよりによる情報発信や教育活動の公開

- ・魅力ある学校づくり地域協議会との連携（あいさつ運動、花いっぱい運動等）
- ・生徒会ボランティア委員会を中心とした地域ボランティア活動への積極的な参加の促進
- ・地域の高齢者福祉施設における交流を通じた福祉学習（1学年 総合的な学習の時間）

## （2） 小中一貫教育・地域学校園

### ①基本的考え方

○横川地域学校園内のすべての児童生徒に、豊かな心や学力、健康・体力等を着実に身に付けさせるとともに、児童生徒一人一人が学習や係活動、学校行事などの様々な活動に主体的に取り組み、充実した9年間の学校生活を送れるよう、小中教員の相互理解をさらに深めた小中一貫教育の実践に努める。また、地域の教育資源を児童生徒の学びに生かすとともに、大人も子どもも学びを深められる横川地域学校園の充実に努める。

### ②主な取組

- ・小中教員の相互理解を積極的に進めるための「乗り入れ授業」の実施
- ・児童生徒指導と学習指導における小中連携の推進
- ・「いじめゼロ・あいさつ・時間・言葉づかい」（横川地域学校園共通スローガン）の実践  
スローガンの掲示、いじめゼロリボンシール、あいさつ運動
- ・家庭学習の習慣化のための「家庭学習の手引き」配布
- ・9年間を見通した道徳教育年間指導計画の地域学校園化（学校園共通の重点項目を設定）と実践
- ・9年間を見通した情報モラル/デジタル・シティズンシップの育成
- ・「お弁当の日」の地域学校園での共通実施、9年間継続する歯磨きタイムの実施（感染症の状況による）

## （3） 不登校対策

### ①基本的考え

- 生徒をきめ細かく観察することで、小さな変化を察知し、学校のチーム力を生かした迅速かつ組織的な対応によって新たな不登校を生まないよう努める。
- 不登校生徒への支援については、不登校となった要因を的確に把握し、学校や家庭、必要に応じて関係機関が情報を共有し、組織的・継続的に個に応じたきめ細やかな支援策を講じる。
- 「宇都宮市学校いじめ防止基本方針」及び「横川中学校いじめ防止基本方針」に基づき、生徒主体のいじめ根絶集会や道徳科の授業等でいじめについて議論する機会を設定して、いじめ根絶に向けた気運を高め、未然防止に努める。また、いじめに係るアンケートを定期的に実施し、早期発見・早期対応に努める。

### ②主な取組

#### ア 学校組織としての取組

- ・特別支援教育部会を充実させ、情報を共有しながら具体的な対応策の検討及び実践を図る。その際、スクールカウンセラーや校内教育支援センター支援員の協力を得て、必要に応じてケース会議を開催して対応を検討する。
- ・いじめ等問題行動対策委員会の開催
- ・児童生徒指導強化連絡会における小・中の連携による情報の共有
- ・校内教育支援センター設置の周知と有効活用（SCM、スクールカウンセラー、校内教育支援センター支援員を中心に全教職員の情報共有と連携）

#### イ 未然防止に向けた取組

- ・「Q-Uテスト」結果の有効活用を図り、学級経営に役立てる。また、その結果を学年・学校で共有し、要支援群にいる生徒への具体的な対応について共通理解を図る。
- ・学業指導を充実させ、生徒にとって分かりやすく興味をもって取り組める授業づくりと居がいいのある学級づくりを行う。
- ・スタンダードダイアリーやチャンス相談などを通して、生徒との良好な人間関係を構築する。

#### ウ 早期発見・早期対応の取組

- ・主に教育相談（定期・適時）やスタンダードダイアリーを活用し、悩みや不安をいち早く把握するとともに、その解消を図るために家庭との連携を密にする。また、部活動においても顧問が悩みや不安を把握し、その解消を図る。

- ・いじめの未然防止や早期発見に向け、学校生活調査（いじめアンケート）を毎月実施し、組織的な対応を行う。また、保護者との連携を充実させ、問題の早期解消に努める。
- ・欠席状況共有シートの活用して迅速に対応する。

#### （４） G I G Aスクール構想

##### ①基本的考え

- 「第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」に基づき、「リアル」と「デジタル」がベストミックスされた学習活動の実現を図る。
- これまで以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。
- 生徒・教職員が１人１台端末を授業の内外で日常的に活用できるよう、指導と活用の充実に努める。
- 適切な情報の扱い方などの情報モラル教育、デジタルシチズンシップ教育を計画的に行う。

##### ②主な取組

- ・「デジタルの力でリアルな学びを支える」ためＩＣＴ機器を積極的に活用する。
- ・さまざまなコンテンツを生徒同士の共同作業や発表のツールとして活用する。
- ・不登校生徒等の学習支援ツールとして、オンライン授業の視聴や教師とのコミュニケーションツールとしても活用する。

#### （５） 宇都宮学

##### ①基本的考え

- 児童生徒が郷土への愛情と誇りをもてるようにするため、地域の教育資源や資料などを活用しながら、伝統の継承や人の生き方、郷土の歴史・文化・産業・風土などについての理解を深めさせる。
- ・地域、郷土への理解を基に、誰にとってもより安心して快適な地域、郷土にしていくために自分にもできそうことを考えさせること等をとおして、社会に参画し、協働しようとする意識や必要な力を育成する。

##### ②主な取組

- ・総合的な学習の時間に位置付けられた「宇都宮学」を、宇都宮市作成の資料をもとに確実に実施し、郷土への理解を深めさせる。
- ・宇都宮市独自の「道徳科地域教材」を用いた授業を全学年で確実に実施し、郷土への愛着を深めることのできるような指導に努める。
- ・これまでに配付された県版「ふるさと学習」資料集やＩＣＴ機器、地域の人材なども適時活用するなど、郷土への理解と愛着が深められるよう、教材研究の充実と教材の共有化に努める。